

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special

 大同特殊鋼株式会社

第96期 報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

証券コード5471

目次

| | |
|---------------------|----|
| 株主の皆様へ | 2 |
| 当社グループの事業の概況 | 3 |
| 業績の推移 | 8 |
| トピックス | 9 |
| 連結貸借対照表 | 11 |
| 連結損益計算書 | 11 |
| 連結株主資本等変動計算書 | 12 |
| 貸借対照表 | 13 |
| 損益計算書 | 13 |
| 株主資本等変動計算書 | 14 |
| 会社の概況 | 15 |
| (1)会社の株式に関する事項 | 15 |
| (2)当社グループの主要な事業内容 | 15 |
| (3)当社の主要な営業所および工場等 | 16 |
| (4)従業員の状況 | 16 |
| (5)重要な子会社および関連会社の状況 | 16 |
| 取締役および監査役 | 18 |
| 執行役員 | 18 |

表紙の 写真

クッチャロ 自然の森だいでう

当社は、北海道枝幸郡浜頓別町にあるクッチャロ湖のほとりに370万㎡の土地を所有しており、半世紀以上にわたって植樹活動等を行ない、森林の維持・保全に努めてきました。

クッチャロ湖は、平成元年に日本で3番目にラムサール条約(水鳥の貴重な生息地である湿地を保護する国際条約)登録湿地に指定され、毎年春と秋には数万羽のコハクチョウが羽を休める中継地としても有名です。

当社は、平成17年にこの森を「クッチャロ 自然の森だいでう」と名付け、環境保全・自然愛護啓発のシンボルとし、社会貢献活動の一つとして環境教育など様々な環境活動を展開しています。

株主の 皆様へ

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

当社第96期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

大同特殊鋼グループは、経営理念を「素材の可能性を追及し、人と社会の未来を支え続けます」と定めております。特殊鋼をはじめとする素材および素材に関する技術の高度化を継続的に推進し、新たな価値を創造することにより、多様化する社会のニーズに応え、その発展につながるよう貢献し続けることを目指しております。

世界経済は新型コロナウイルスの影響により、人の移動が制限され、経済活動が停滞しており、リーマンショックを超える経済環境の悪化が予想されています。当社は、すべての関係者の皆様や社員およびそのご家族の安全を最優先とし、感染防止に努めるとともに、テレワークの推進など働き方の見直しを行い、業務の効率化を図ってまいります。

足元の事業環境は大変厳しい状況ではありますが、2020年度後半からは徐々に経済も回復してくるものと想定しております。また、自動車の電動化・自動運転化やAI・IOTといったデジタル革命などの社会トレンドは、今後も継続して進展し、半導体やロボットの需要は拡大していくと想定されます。これらの用途に使用される機能材料の強化のため、知多第2工場新設、高性能磁石の研究開発ならびに次世代モータの研究に取り組む中津川先進磁性材料開発センター設立を含め、将来の成長分野へ経営資源を投入し、現在そして未来の社会に貢献してまいります。

本年度は大同特殊鋼グループ2020年中期計画の最終年度となります。基本方針であります「Beyond the Special『機能性に優れた素材で、お客様の技術革新を支える』」を着実に実行し、新たな中期計画や将来を描き、社会そして皆様とともに成長して参りたいと思います。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長

石黒 武



(1) 事業の経過およびその成果

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、当期後半にかけては輸出や生産に弱さが見られ、製造業を中心に企業収益は弱含みで推移し、景気に減速感が出始めました。また、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などの不安定な世界情勢に加え、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に与える影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、グローバルでの販売低調および日系自動車メーカーの車両生産減少を受け、前期比で減少しました。産業機械の受注は、米中貿易摩擦の影響を受け、前期比で減少しました。また、第4四半期に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大により、全需要先において受注は弱含みとなり、その結果、鋼材売上数量は前期比で減少しました。一方、原材料・資材関係につきましては、鉄スクラップ価格は国内需給の緩和を受け安値で推移しましたが、製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格や、電力などのエネルギーコストは増加しました。

これらの結果、当期における売上高は、前期比 528 億 33 百万円減少の 4,904 億 21 百万円、経常利益は、前期比 100 億 44 百万円減益の 242 億 98 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産の売却益、ターボハウジング部門の減損損失計上などに

より前期比 101 億 94 百万円減益の 109 億 87 百万円となりました。

(2) セグメントの業績

① 特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注減少を受け、前期比で数量が減少しました。工具鋼も、自動車関連の受注減少を受け前期比で数量が減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需給の緩和により安値で推移しましたが、製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格や、電力などのエネルギーコストは増加しました。販売価格につきましては、鉄スクラップスライド部分を除き、昨年度実施した価格改定により上昇しました。

これらの結果、当期における特殊鋼鋼材部門の売上高は、売上数量の減少により前期比 12.5% 減少の 1,816 億 74 百万円、営業利益は、売価改定および鉄スクラップ価格の下落により増益となりましたが、連結子会社における不適切な会計処理の修正により前期比 8 億 50 百万円減益の 51 億 48 百万円となりました。

② 機能材料・磁性材料

ステンレス鋼・高合金は、自動車向け需要は燃費改善に向けた動きにより堅調に推移しましたが、産業機械向けの需要減少、また年度後半から回復基調に

あるものの半導体関連の需要減少により、前期比で数量が減少しました。磁石製品は、中国での自動車販売減少等を受け、粉末製品も海外需要の減少により売上高が減少しました。

これらの結果、当期における機能材料・磁性材料部門の売上高は、売上数量の減少により前期比 9.3%減少の 1,673 億 56 百万円、営業利益は、前期比 70 億 55 百万円減益の 136 億 38 百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、当期後半より半導体関連の需要が回復してきたこと等により、売上高は前期比で増加しました。エンジンバルブ部品・型鍛造品は自動車生産の減少を受け、売上高は、前期比で減少しました。精密鋳造品は、中国での自動車販売減少にともなうターボ関連製品の需要低迷が継続し、売上高は前期比で減少しました。

これらの結果、当期における自動車部品・産業機械部品部門の売上高は、売上数量の減少により前期比 11.4%減少の 973 億 43 百万円、営業利益は、前期比 18 億 78 百万円減益の 4 億 30 百万円となりました。

④エンジニアリング

当期におけるエンジニアリング部門の売上高は、前期比 3.4%減少の 265 億 83 百万円となりましたが、

営業利益は、省エネ目的の機能向上メンテナンス事業強化等による内容構成良化により前期比 6 億 68 百万円増益の 29 億 60 百万円となりました。

⑤流通・サービス

主に新規連結会社の増加影響により、当期における流通・サービス部門の売上高は、前期比 29.4%増加の 174 億 63 百万円、営業利益は、前期比 54 百万円増益の 25 億 81 百万円となりました。

なお、セグメント別の売上高につきましては、7ページのグラフのとおりであります。

(3) 対処すべき課題

新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済全体に大きな影響を及ぼしており、先行きについては不透明感が一段と増しております。当社の主要需要先である自動車関連の受注は、世界各地での生産活動停止を受け、回復には時間がかかることが想定され、当面は厳しい経営環境が継続するものと見込まれます。このような状況下、当社はすべての関係者の皆様や社員およびその家族の安全を最優先とし、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、固定費を中心とした徹底的なコスト圧縮策を推し進め、影響が最小限となるよう事業活動の継続を図ってまいります。

他方、中長期的な視点では、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが地球規模での大きなテーマとなっています。お客様におきましても地球温暖化ガスの削減が大きなテーマとなっており、自動車の内燃機関や航空機のジェットエンジンの高効率化が求められています。自動車産業ではさらに、電動化などのパワートレインの多様化や自動運転、コネクテッドカー化など、100年に1度の大きな技術革新が起きようとしています。また、ビッグデータ、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット化)を活かしたデジタル革命が進んでおり、いろいろな産業界に変革がもたらされようとしています。それらにより、半導体需要の増加やロボットによる自動化等が進展すると見込まれます。

足元の当社を取り巻く経営環境は厳しい状況ではありますが、次期は2020年「大同特殊鋼グループ

2020中期経営計画」の最終年度となります。下記中期経営計画の経営基本方針および行動方針をもう一段推し進めながら、お客様とともに持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

■ 2020中期経営計画基本方針

Beyond the Special

「機能性に優れた素材で、お客様の技術革新を支える」

当社は、お客様の技術革新を機能性に優れた素材を提供することで支えてまいります。例えば、自動車の内燃機関・ジェットエンジンの高効率化には高耐熱・高耐食ステンレス鋼や高合金を、自動車の電動化には高性能磁石や高機能粉末を、自動運転化には軟磁性材料等を提供してまいります。デジタル革命に対しましても半導体製造装置に必要な高清浄ステンレス鋼や自動化・ロボット化に必要な高性能磁石等、お客様の必要とする高機能な素材を提供することで、その進化・技術革新をしっかりと支えてまいります。

これらの実現のために、次の3点の行動方針のもと中長期的成長を目指してまいります。

① ポートフォリオ改革(構造材料から機能材料へ)

成長機会の多い機能材料・磁性材料セグメントへ積極投資を実施し、売上高トップセグメント化を目指します。全社的製品ポートフォリオを改革し、利益の最大化を目指してまいります。

前記のとおり、今後は耐熱性、耐食性、高清浄度や磁気特性等の機能性に優れた素材へのニーズが高まる見込みです。ステンレス鋼、高合金、粉末といった機能材料や磁性材料の需要が継続的に伸びていくと想定しています。この動きを確実に捉え安定供給を果たすべく、当期までに知多工場の連続鑄造ライン合理化を始めとした生産能力の増強投資を実施してまいりました。今後はこれら設備の早期戦力化を目指した事業活動に取り組んでまいります。また、長期的に大きな市場成長が見込まれる磁石事業については、2020年度に中津川先進磁性材料開発センターを開設し、次世代の革新モータ技術とそれにふさわしい搭載磁石に関する研究開発を強化してまいります。

②事業基盤の強化(損益分岐点改善、経営体質強化)

長期継続的な成長を実現するため、事業基盤を強化してまいります。

事業全体の基盤である鋼材事業に関しては、徹底したコストダウンを行い、再生産可能な適正マージンを確保することを目指します。また、既存設備の能率向上、一貫歩留の向上、物流の整流化を進め、生産スループットの最大化を目指してまいります。持続可能な社会の実現に向け、環境投資も積極的に進めてまいります。事業基盤の根幹である人材に対しても働き方改革による生産性向上と人材育成の両立を目指してまいります。

③事業の再構築

採算の悪い事業についての見極めを行い、採算の取れる事業への再構築を進めてまいります。当期は、ターボハウジング部門において、急激な事業環境の悪化により将来における収益性が低下したものと判断し、固定資産の減損処理を実施しました。今後も選択と集中を進めることにより経営効率を上げ、中長期的に資本効率を高めてまいります。

当社グループは、グループ経営理念を「素材の可能性を追求し、人と社会の未来を支え続けます」と定め、素材または素材に関する技術をもって素材が秘めている可能性をひきだし、新たな価値を創造することで、人と社会の未知のニーズに応え、その発展につながるよう貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

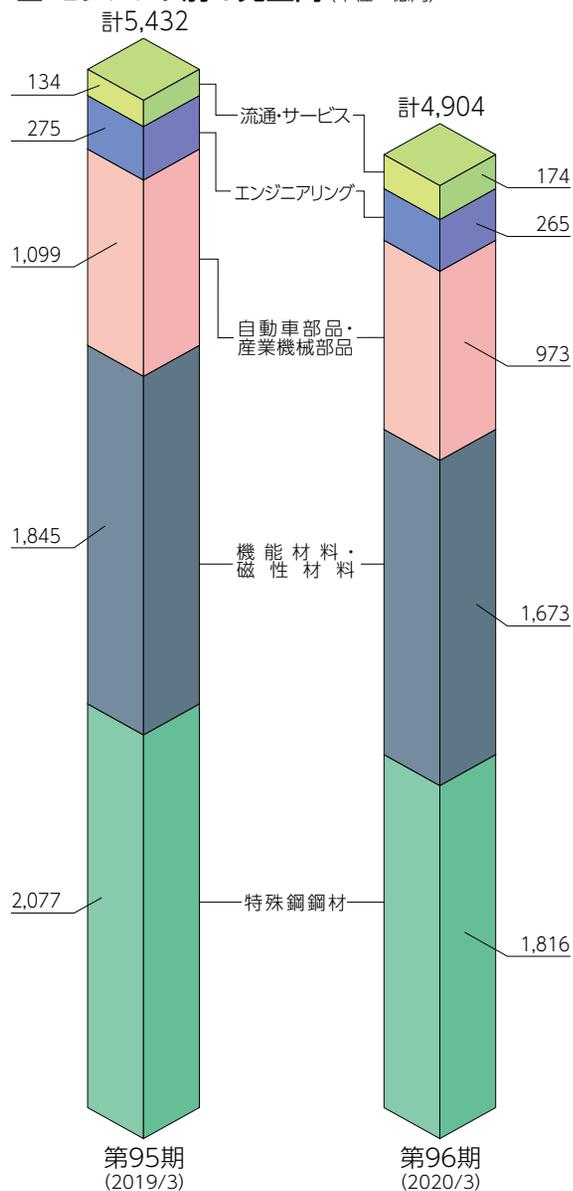
(4)設備投資等の状況

当期において実施した当社グループの設備投資の総額は375億29百万円であります。

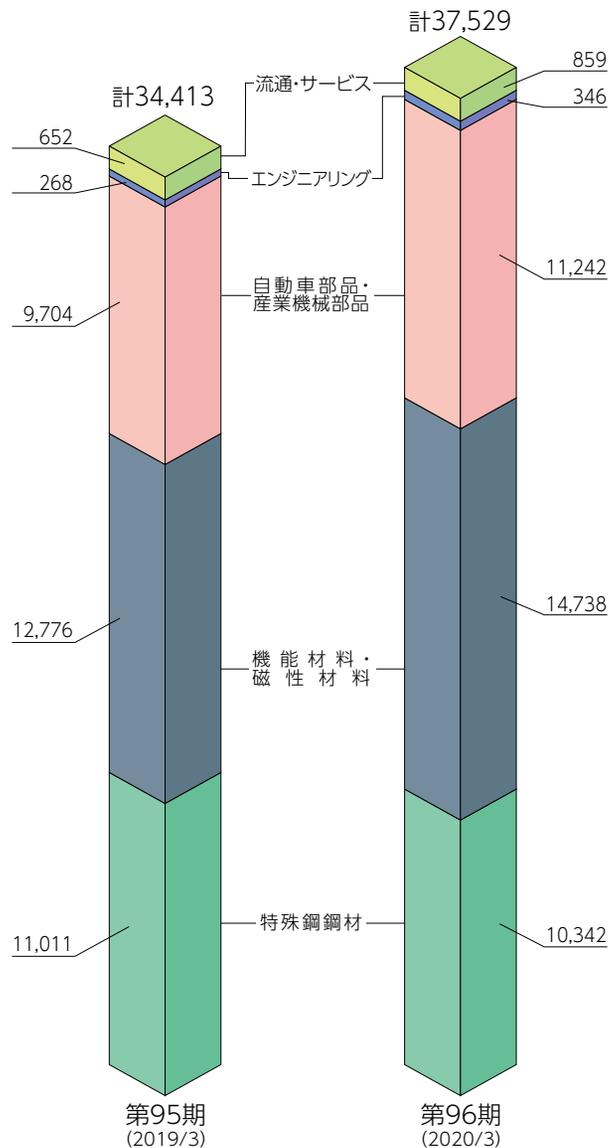
なお、セグメント別の設備投資額につきましては、7ページのグラフのとおりであります。

当社グループの事業の概況(つづき)

■ セグメント別の売上高 (単位：億円)

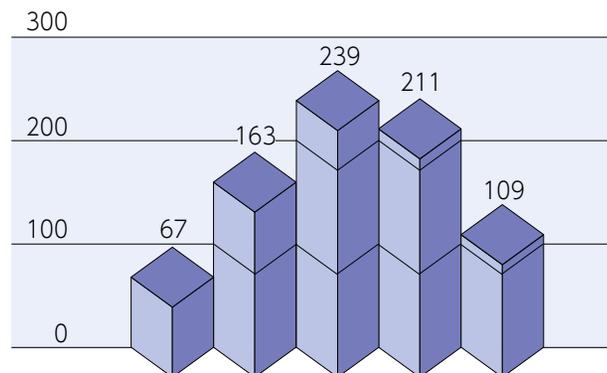
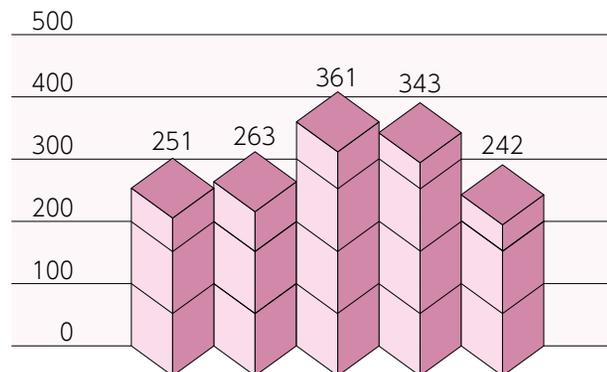
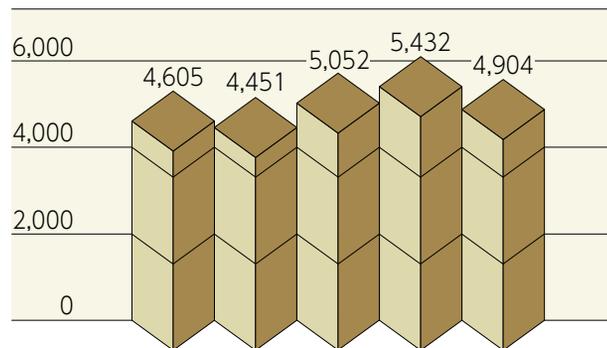


■ セグメント別の設備投資額 (単位：百万円)



業績の推移

(1) 当社グループの業績の推移



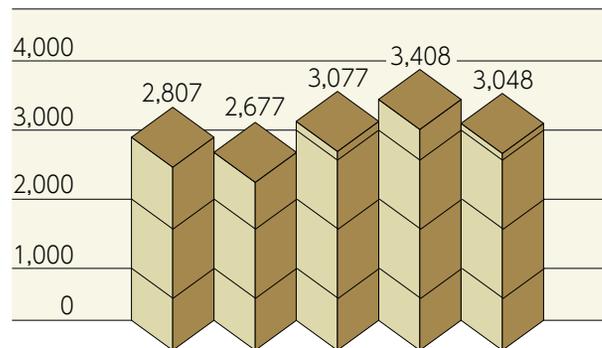
第92期* 第93期* 第94期* 第95期* 第96期*
 (2016/3) (2017/3) (2018/3) (2019/3) (2020/3)

*親会社株主に帰属する当期純利益

(2) 当社の業績の推移

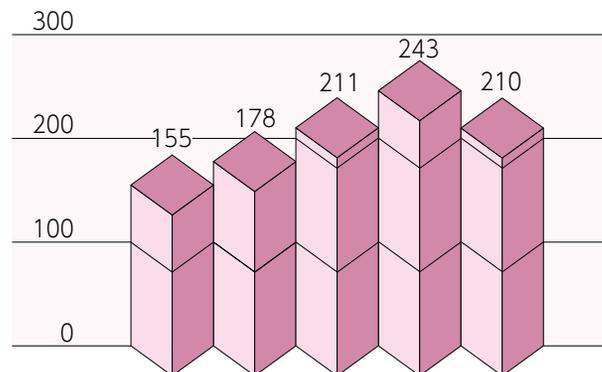
■ 売上高

(単位: 億円)



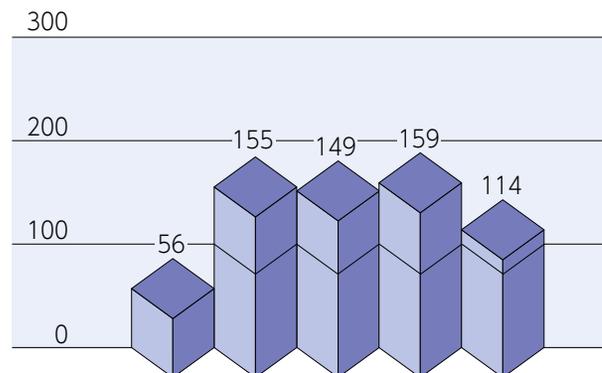
■ 経常利益

(単位: 億円)



■ 当期純利益

(単位: 億円)



第92期 第93期 第94期 第95期 第96期
 (2016/3) (2017/3) (2018/3) (2019/3) (2020/3)

中津川市と企業立地協定を締結

2019年10月、当社は岐阜県中津川市に磁石の研究開発ならびに次世代モーターの研究開発に取り組む新たな拠点を設立するため、所有地を譲り受ける立地協定を締結しました。中津川市役所において行われた締結式では、岐阜県の古田知事立ち会いのもと、石黒社長と同市の青山市長が協定書を取り交わしました。



(左から)立会者の古田岐阜県知事、石黒社長、青山中津川市長

設立の目的

当社グループの磁石研究・開発を担う「技術開発研究所」の一部を、製造・販売部門である「(株)ガイドー電子」が立地する中津川エリアに移転することで、次世代の革新モーター技術とそれにふさわしい搭載磁石に関する産学連携の研究開発を推進します。

研究・開発体制を強化

- ① 磁石研究開発拠点の移転
研究と製造を一体化し、磁石開発速度アップ
- ② 研究開発領域の拡張
当拠点を新たに産学連携による次世代モーター研究拠点とし、革新的モーターと磁石およびその応用技術によるトータルソリューションをお客様に提案
- ③ 研究設備の充実
磁石研究にかかる試験・評価設備を増強し、技術開発のアウトプットを最大化

※2020年5月に正式名称「中津川先進磁性材料開発センター」として開所式を開催しました。

知多第2工場が稼働を開始

2020年3月、当社の知多第2工場が稼働を開始しました。2019年9月に当社および当社グループの事業拡大や既存工場を含めた効率化を目的として、愛知県知多市にある工場跡地の一部を取得。2020年中期経営計画で掲げる「ポートフォリオ改革（構造材料から機能材料へ）」に向け、高付加価値製品の生産能力増強を進める新たな生産拠点として活用します。

【知多第2工場の概要】

| | |
|---------|----------------------------|
| 名称 | 大同特殊鋼株式会社 知多第2工場 |
| 所在地 | 愛知県知多市北浜町11番20(敷地面積 219千㎡) |
| 設備投資額 | 約30億円(除:土地建物購入費) |
| 稼働開始 | 2020年3月 |
| 今回の設置設備 | ピーリング設備(1ライン) |
| 今回の生産能力 | 1,000トン/月 |
| 今後の設備投資 | ピーリング設備・熱処理設備・超音波探傷機など |
| 事業内容 | 高機能ステンレス鋼の二次加工など |



※4月に開所式を開催しました。

今回の稼働開始により、ポートフォリオ改革を加速させるとともに、他工場との連携を密にし、業務の効率化を実現することで、さらなる競争力の向上および事業基盤の一層の強化を図ってまいります。

DBJ環境格付2018を取得

当社は、(株)日本政策投資銀行(DBJ)の「DBJ環境格付」において、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」との格付を取得し、当制度に基づく融資を受けたことを、2019年4月に発表しました。「DBJ環境格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により、企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての金融メニューです。今回の格付では、「全社的な環境啓発活動に取り組んでいる点」「継続的な環境保全投資による環境負荷の低減に取り組んでいる点」「機能材料・磁性材料をはじめとしたお客様や社会課題の解決に資する製品、次世代技術の開発を推進している点」等が評価されました。



3年連続でホワイト500に認定

当社は、2020年3月に経済産業省および日本健康会議が選出する「健康経営優良法人 2020 (通称：ホワイト500)」に3年連続で認定されました。また、当社健康保険組合から大規模法人部門で日本精練(初)、大同ライフサービス(初)、宏潤会(初)が、中小規模法人部門で大同テクニカ(2回目)がそれぞれ選出されました。

「健康優良法人制度」とは、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、経済産業省が特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度で、2015年から「健康経営銘柄」の選定が始まり、2017年から「健康経営優良法人」の認定が開始されました。



2020
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

知多工場 製鋼量累計7,000万トン達成

当社の知多工場は、2020年2月に製鋼量累計7,000万トンを達成しました。主管である知多工場製鋼部門は1962年に稼働を開始し、58年をかけて節目の日を迎えました。

同月、知多製鋼工場で記念式典を開催し、鹿嶋執行役員知多工場長が150トン電気炉導入後初となる記念の出鋼操作を執り行うなど、関係者で達成の喜びを分かち合いました。



にじゅうまるプロジェクト～当社の環境保全活動3件を登録～

2020年1月に、当社が取り組む環境保全活動であるクッチャロ湖・自然の森だいでう(北海道浜頓別町)、ホテル園(星崎工場)、だいでうの森(長野県南木曾町)の3件が国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J)等による「にじゅうまるプロジェクト」に登録されました。同プロジェクトは、2011年10月にIUCN-Jおよび日本の生物多様性保全をリードする団体で結成され、生物多様性保全の取り組み事業を団体・企業・自治体が宣言し、行動することで「愛知ターゲット」の達成を活性化させることを目的としています。

●愛知ターゲットとは●

2010年に名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議で合意された、生物多様性の保全に向けて世界各国が連携して取り組む目標。



※当社の知多工場が参画する「命をつなぐプロジェクト」も認定されています。

連結貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:百万円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 310,641 | 流動負債 | 198,419 |
| 現金及び預金 | 59,558 | 支払手形及び買掛金 | 40,828 |
| 受取手形及び売掛金 | 102,254 | 電子記録債務 | 25,993 |
| 電子記録債権 | 16,027 | 短期借入金 | 80,927 |
| たな卸資産 | 127,174 | コマースナル・ペーパー | 17,000 |
| その他 | 5,721 | 未払法人税等 | 2,861 |
| 貸倒引当金 | △93 | 賞与引当金 | 7,576 |
| 固定資産 | 315,257 | 役員賞与引当金 | 156 |
| 有形固定資産 | 237,492 | 環境対策引当金 | 2,092 |
| 建物及び構築物 | 83,464 | その他 | 20,983 |
| 機械装置及び運搬具 | 101,976 | 固定負債 | 118,344 |
| 土地 | 37,710 | 社 債 | 35,000 |
| 建設仮勘定 | 6,831 | 長期借入金 | 59,508 |
| その他 | 7,509 | 繰延税金負債 | 4,061 |
| 無形固定資産 | 1,619 | 再評価に係る繰延税金負債 | 659 |
| 投資その他の資産 | 76,145 | 役員退職慰労引当金 | 768 |
| 投資有価証券 | 65,330 | 環境対策引当金 | 2,826 |
| 繰延税金資産 | 2,182 | 退職給付に係る負債 | 10,762 |
| 退職給付に係る資産 | 5,262 | その他 | 4,757 |
| その他 | 3,545 | 負債合計 | 316,763 |
| 貸倒引当金 | △175 | (純資産の部) | |
| | | 株主資本 | 276,101 |
| | | 資 本 金 | 37,172 |
| | | 資 本 剰 余 金 | 30,449 |
| | | 利 益 剰 余 金 | 212,136 |
| | | 自 己 株 式 | △3,656 |
| | | その他の包括利益累計額 | △2,539 |
| | | 其他有価証券評価差額金 | 4,415 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | △3 |
| | | 土地再評価差額金 | 1,537 |
| | | 為替換算調整勘定 | 712 |
| | | 退職給付に係る調整累計額 | △9,203 |
| | | 非支配株主持分 | 35,574 |
| | | 純資産合計 | 309,136 |
| 資産合計 | 625,899 | 負債純資産合計 | 625,899 |

連結損益計算書

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|------------------------|-------|----------------|
| 売 上 高 | | 490,421 |
| 売 上 原 価 | | 409,382 |
| 売 上 総 利 益 | | 81,039 |
| 販売費及び一般管理費 | | 56,270 |
| 営 業 利 益 | | 24,768 |
| 営 業 外 収 益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 2,091 | |
| 持分法による投資利益 | 760 | |
| その他 | 891 | 3,743 |
| 営 業 外 費 用 | | |
| 支 払 利 息 | 793 | |
| その他 | 3,420 | 4,214 |
| 経 常 利 益 | | 24,298 |
| 特 別 利 益 | | |
| 固定資産売却益 | 7,638 | |
| その他 | 48 | 7,686 |
| 特 別 損 失 | | |
| 減 損 損 失 | 5,842 | |
| 固定資産圧縮損 | 2,772 | |
| 投資有価証券評価損 | 2,072 | |
| その他 | 127 | 10,815 |
| 税金等調整前当期純利益 | | 21,170 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,796 | |
| 法人税等調整額 | 1,298 | 9,095 |
| 当 期 純 利 益 | | 12,075 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | | 1,087 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 10,987 |

連結株主資本等変動計算書

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | |
|--------------------------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 37,172 | 30,285 | 203,299 | △3,651 | 267,106 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △5,116 | | △5,116 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 10,987 | | 10,987 |
| 自己株式の取得 | | | | △5 | △5 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 0 | 0 |
| 連結範囲の変動 | | 164 | 2,966 | | 3,130 |
| 非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動 | | △1 | | | △1 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 163 | 8,836 | △5 | 8,995 |
| 当期末残高 | 37,172 | 30,449 | 212,136 | △3,656 | 276,101 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 非支配 株主持分 | 純資産合計 |
|--------------------------|------------------|-------------|--------------|--------------|------------------|-------------------|-------------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 17,495 | △0 | 1,537 | 983 | △1,614 | 18,402 | 32,631 | 318,140 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △5,116 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | | | 10,987 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △5 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | | 0 |
| 連結範囲の変動 | | | | | | | | 3,130 |
| 非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動 | | | | | | | | △1 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △13,079 | △2 | — | △270 | △7,588 | △20,942 | 2,942 | △17,999 |
| 当期変動額合計 | △13,079 | △2 | — | △270 | △7,588 | △20,942 | 2,942 | △9,004 |
| 当期末残高 | 4,415 | △3 | 1,537 | 712 | △9,203 | △2,539 | 35,574 | 309,136 |

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:百万円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 187,018 | 流動負債 | 155,800 |
| 現金及び預金 | 28,457 | 支払手形 | 128 |
| 受取手形 | 257 | 電子記録債権 | 23,119 |
| 電子記録債権 | 2,233 | 買掛金 | 24,947 |
| 売掛金 | 68,370 | 短期借入金 | 43,232 |
| 製品 | 7,136 | コマーシャル・ペーパー | 17,000 |
| 半製品 | 22,977 | 1年内返済予定の長期借入金 | 15,000 |
| 仕掛品 | 15,726 | リース債務 | 42 |
| 原材料 | 10,119 | 未払金 | 3,712 |
| 貯蔵品 | 12,171 | 未払費用 | 1,649 |
| 前渡金 | 47 | 未払法人税等 | 1,435 |
| 前払費用 | 608 | 前受金 | 594 |
| 関係会社短期貸付金 | 16,196 | 預り金 | 8,463 |
| その他 | 2,715 | 前受収益 | 27 |
| 固定資産 | 247,156 | 賞与引当金 | 3,841 |
| 有形固定資産 | 140,812 | 役員賞与引当金 | 67 |
| 建物 | 35,993 | 環境対策引当金 | 2,092 |
| 構築物 | 19,210 | 工事損失引当金 | 154 |
| 機械及び装置 | 63,837 | 設備関係支払手形 | 300 |
| 車両運搬具 | 1,037 | 設備関係電子記録債権 | 7,675 |
| 工具、器具及び備品 | 3,557 | その他 | 2,317 |
| 土地 | 13,376 | 固定負債 | 88,889 |
| リース資産 | 166 | 社債 | 35,000 |
| 建設仮勘定 | 3,634 | 長期借入金 | 44,400 |
| 無形固定資産 | 372 | リース債務 | 137 |
| ソフトウェア | 336 | 繰延税金負債 | 5,911 |
| その他 | 36 | 関係会社事業損失引当金 | 156 |
| 投資その他の資産 | 105,972 | 環境対策引当金 | 2,805 |
| 投資有価証券 | 47,075 | 資産除去債務 | 269 |
| 関係会社株式 | 27,048 | その他 | 208 |
| その他の関係会社有価証券 | 495 | 負債合計 | 244,690 |
| 出資金 | 511 | (純資産の部) | |
| 関係会社出資金 | 211 | 株主資本 | 185,604 |
| 長期貸付金 | 9 | 資本金 | 37,172 |
| 関係会社長期貸付金 | 16,594 | 資本剰余金 | 29,001 |
| 長期前払費用 | 276 | 資本準備金 | 9,293 |
| 前払年金費用 | 17,696 | その他資本剰余金 | 19,708 |
| その他 | 1,498 | 利益剰余金 | 123,073 |
| 貸倒引当金 | △5,445 | その他利益剰余金 | 123,073 |
| | | 圧縮記帳積立金 | 2,406 |
| | | 別途積立金 | 107,500 |
| | | 繰越利益剰余金 | 13,166 |
| | | 自己株式 | △3,642 |
| | | 評価・換算差額等 | 3,880 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 3,883 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | △3 |
| 資産合計 | 434,175 | 純資産合計 | 189,484 |
| | | 負債純資産合計 | 434,175 |

損益計算書

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|-------------------|-------|----------------|
| 売上高 | | 304,819 |
| 売上原価 | | 259,130 |
| 売上総利益 | | 45,688 |
| 販売費及び一般管理費 | | 28,895 |
| 営業利益 | | 16,792 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 6,392 | |
| その他 | 911 | 7,304 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 413 | |
| その他 | 2,633 | 3,047 |
| 経常利益 | | 21,049 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 7,418 | |
| その他 | 456 | 7,874 |
| 特別損失 | | |
| 関係会社貸倒引当金繰入額 | 5,413 | |
| 固定資産圧縮損 | 2,772 | |
| 関係会社株式評価損 | 2,230 | |
| 投資有価証券評価損 | 1,823 | |
| その他 | 134 | 12,375 |
| 税引前当期純利益 | | 16,548 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,391 | |
| 法人税等調整額 | 673 | 5,064 |
| 当期純利益 | | 11,483 |

株主資本等変動計算書

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|-----------|----------|---------|-----------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資 本 剩 余 金 | | | 利 益 剩 余 金 | | | | 自己株式 | 株主資本合計 |
| | | その他利益剰余金 | | | 圧縮記帳積立金 | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | | | | | | |
| 当期首残高 | 37,172 | 9,293 | 19,708 | 29,001 | 994 | 96,500 | 19,212 | 116,706 | △3,637 | 179,243 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △5,116 | △5,116 | | △5,116 |
| 圧縮記帳積立金の積立 | | | | | 1,522 | | △1,522 | — | | — |
| 圧縮記帳積立金の取崩 | | | | | △109 | | 109 | — | | — |
| 別途積立金の積立 | | | | | | 11,000 | △11,000 | — | | — |
| 当期純利益 | | | | | | | 11,483 | 11,483 | | 11,483 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | △5 | △5 |
| 自己株式の処分 | | | △0 | △0 | | | | | 0 | 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △0 | △0 | 1,412 | 11,000 | △6,045 | 6,366 | △5 | 6,361 |
| 当期末残高 | 37,172 | 9,293 | 19,708 | 29,001 | 2,406 | 107,500 | 13,166 | 123,073 | △3,642 | 185,604 |

| | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | | | 純資産合計 |
|-------------------------|-----------------|---------|------------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 16,243 | — | 16,243 | 195,486 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △5,116 |
| 圧縮記帳積立金の積立 | | | | — |
| 圧縮記帳積立金の取崩 | | | | — |
| 別途積立金の積立 | | | | — |
| 当期純利益 | | | | 11,483 |
| 自己株式の取得 | | | | △5 |
| 自己株式の処分 | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △12,359 | △3 | △12,362 | △12,362 |
| 当期変動額合計 | △12,359 | △3 | △12,362 | △6,001 |
| 当期末残高 | 3,883 | △3 | 3,880 | 189,484 |

会社の概況 (2020年3月31日現在)

(1) 会社の株式に関する事項

| | |
|--------------|--------------------------------------|
| ■発行可能株式総数 | 116,000,000株 |
| ■発行済株式の総数 | 43,448,769株 (自己株式 808,296株を含みます。) |
| ■株主数 | 17,339名 |
| ■大株主 (上位10名) | |

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|-------------------------------|-------------|-------------|
| 日本製鉄株式会社 | 3,100 | 7.27 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 2,556 | 5.99 |
| 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口) | 2,152 | 5.04 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 2,075 | 4.86 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,577 | 3.69 |
| 日本発條株式会社 | 1,449 | 3.39 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 1,405 | 3.29 |
| 本田技研工業株式会社 | 1,305 | 3.06 |
| トヨタ自動車株式会社 | 869 | 2.03 |
| 株式会社デンソー | 800 | 1.87 |

自己株式は除いております。

■所有者別株式分布状況

| 所有者区分 | 株式数 (千株) | 株式数比率 (%) |
|----------|-------------|--------------|
| 金融機関 | 19,037 | 43.94 |
| 国内法人 | 13,966 | 32.23 |
| 個人・その他 | 4,849 | 11.19 |
| 外国法人 | 4,433 | 10.23 |
| 自己株式 | 808 | 1.86 |
| 金融商品取引業者 | 236 | 0.55 |

(2) 当社グループの主要な事業内容

| セグメント区分 | 主要な事業内容 |
|--------------|--|
| 特殊鋼鋼材 | <ul style="list-style-type: none"> 自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、工具鋼・金型用材料 特殊鋼鋼材加工、流通 原材料販売 運輸、物流 |
| 機能材料・磁性材料 | <ul style="list-style-type: none"> ステンレス・高合金製品、電気・電子部品用材料 磁材製品 (OA・FA用モーター、自動車用モーター・センサー、計測機器用部品等) 粉末製品 (HEV用磁性粉末等) チタン材料製品 (医療用チタン合金、形状記憶合金等) 溶接用材料 |
| 自動車部品・産業機械部品 | <ul style="list-style-type: none"> 型鍛造品・熱間精密鍛造品・鋼機製品 (自動車・ベアリング向け部品等) 自由鍛造品 (船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品) 鋳鋼品 (鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等) 精密鋳造品 (自動車・産業機械・電機・通信機器用部品等) 製材用帯鋸 エンジンバルブ 圧縮機器・油圧機器・工作機械用部品 |
| エンジニアリング | <ul style="list-style-type: none"> 鉄鋼設備、各種工業炉およびその付帯設備、環境関連設備 (排水・排ガス・廃棄物等の処理設備)、工作機械等 機械設備の保守管理 |
| 流通・サービス | <ul style="list-style-type: none"> グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業 ゴルフ場経営 分析事業 |

(3) 当社の主要な営業所および工場等

| | | |
|---------|---|---|
| 本 社 | 名古屋市東区東桜一丁目1番10号 | |
| 東 京 本 社 | 東京都港区港南一丁目6番35号 | |
| 支店・営業所 | 大阪支店 福岡営業所 | 大阪市中央区 福岡市中央区 |
| 工 場 | 知多、知多型鍛造、知多帯鋼 星崎 渋川 粉末 君津 王子 | 愛知県東海市 名古屋市南区 群馬県渋川市 名古屋市港区 千葉県君津市 東京都北区 |
| テクノセンター | 滝春 中津川 築地 川崎 | 名古屋市南区 岐阜県中津川市 名古屋市港区 川崎市川崎区 |
| 研究開発拠点 | 技術開発研究所 | 名古屋市南区 |

(4) 従業員の状況

■当社グループの従業員数

| セグメント区分 | 従業員数(名) | 前期末比増減(名) |
|--------------|---------|-----------|
| 特殊鋼鋼材 | 3,547 | 173 |
| 機能材料・磁性材料 | 3,938 | 362 |
| 自動車部品・産業機械部品 | 3,632 | 286 |
| エンジニアリング | 659 | 0 |
| 流通・サービス | 1,261 | 196 |
| 全社(共通) | 399 | △2 |
| 合 計 | 13,436 | 1,015 |

(注) △印は、減少を示します。

■当社の従業員数

| 従業員数 | 前期末比増減 | 平均年齢 | 平均勤続年数 |
|--------|--------|-------|--------|
| 3,473名 | 48名 | 38.9歳 | 16.5年 |

(5) 重要な子会社および関連会社の状況

(注) ※印は、間接所有の株式を含みます。

■重要な子会社の状況

特殊鋼鋼材

| 会 社 名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|---|---------------|------------|--|
| 大同興業株式会社 (名古屋市東区) | 百万円 1,511 | % 100.0 | 商事 |
| 大同DMソリューション 株式会社 (大阪府大東市) | 435 | 100.0 | 特殊鋼鋼材の加工および販売 金型および金型部品の製造 および販売 鋼材および非鉄金属の熱処理 および表面処理 |
| 大同テクニカ株式会社 (愛知県東海市) | 40 | 100.0 | 鋼材の精整作業 |
| 大同エコメット株式会社 (愛知県東海市) | 30 | 100.0 | 当社および子会社等から発生する廃棄物のリサイクル 製鋼用原料・資材の製造 および販売 |
| DAIDO DMS(THAILAND) CO., LTD. (タイ国チャチェンサオ県) | 百万BAHT 257 | ※90.0 | 金型用鋼および工具鋼 プレートの加工および販売 |
| 天文大同特殊鋼股份有限公司 (台湾桃園市) | 百万NT\$ 138 | ※73.4 | 金型用鋼および工具鋼 プレートの加工および販売 |
| DAIDO DMS SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール国) | 千\$ 3,017 | ※85.0 | 金型用鋼および工具鋼 プレートの加工および販売 |
| DAIDO DMS MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア国セランゴール州) | 千RM 7,980 | ※89.6 | 金型用鋼および工具鋼 プレートの加工および販売 |

機能材料・磁性材料

| 会 社 名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|--|-----------------|------------|---------------------------------|
| 日本精線株式会社 (大阪市中央区) | 百万円 5,000 | % ※42.9 | ステンレス鋼線および金属 繊維等の製造および販売 |
| 株式会社ガイドー電子 (岐阜県中津川市) | 1,490 | 100.0 | 磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売 |
| 下村特殊精工株式会社 (千葉県市川市) | 297 | ※92.6 | 特殊鋼の引抜および研削品 の製造および販売 |
| 日星精工株式会社 (名古屋市南区) | 80 | 100.0 | ネジおよびボルトの製造お よび販売 |
| 大同電工(蘇州)有限公司 (中国江蘇省) | 千US\$ 21,000 | ※100.0 | 磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売 |
| THAI SEISEN CO., LTD. (タイ国サムットプラカーン県) | 百万BAHT 320 | ※100.0 | ステンレス鋼線およびダイヤ モンドダイスの製造および販売 |
| 下村特殊精鋼(蘇州)有限公司 (中国江蘇省) | 千US\$ 7,200 | ※65.6 | 特殊鋼の引抜および研削品 の製造および販売 |
| 大同磁石(広東)有限公司 (中国広東省) | 5,600 | ※100.0 | 磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売 |

会社の概況 (つづき)

機能材料・磁性材料 (つづき)

| 会社名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|---|---------------|-------------|--------------------------|
| Daido Electronics (Thailand) Co., Ltd. (タイ国アユタヤ県) | 百万BAHT 140 | % ※100.0 | 磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売 |
| ORIENTAL SHIMOMURA DRAWING(M) SDN. BHD. (マレーシア国ペナン州) | 千RM 3,000 | % ※64.2 | 特殊鋼の引抜および研削品の製造および販売 |

自動車部品・産業機械部品

| 会社名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|--|---------------|-------------|-------------------------------|
| フジオーゼックス株式会社 (静岡県菊川市) | 百万円 3,018 | % ※51.8 | エンジンバルブ等の製造および販売 |
| 株式会社大同キャスティングス (名古屋市港区) | 2,215 | 100.0 | 鋳造品および特殊鋼管材の製造および販売 |
| フジホローバルブ株式会社 (静岡県菊川市) | 1,000 | % ※68.1 | エンジンバルブ等の製造 |
| 日本鍛工株式会社 (兵庫県尼崎市) | 310 | 100.0 | 型鍛造品の製造および販売 |
| 東洋産業株式会社 (宮城県黒川郡大衡村) | 160 | 100.0 | 型鍛造品の製造および販売 |
| 大同スターテクノ株式会社 (群馬県渋川市) | 150 | 100.0 | 鍛鋼品の機械加工、精整および熱処理等の請負 |
| 大同精密工業株式会社 (東京都豊島区) | 90 | % ※87.7 | 圧縮機部品、ターボ部品およびカップリング等の製造および販売 |
| FUJI OOXZ MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ国クアナフアト州) | 百万MXN 396 | % ※100.0 | エンジンバルブ等の製造および販売 |
| Daido Steel (Thailand) Co., Ltd. (タイ国チョンブリー県) | 百万BAHT 550 | 100.0 | 型鍛造品の製造および販売 |
| P.T. FUJI OOXZ INDONESIA (インドネシア国西ジャワ州) | 億IDR 2,262 | % ※75.0 | エンジンバルブ等の製造および販売 |
| 富士汽門(広東)有限公司 (中国広東省) | 百万円 64 | % ※100.0 | エンジンバルブ等の製造および販売 |
| 大同凱思英鑄造(蘇州)有限公司 (中国江蘇省) | 百万円 400 | % ※100.0 | 鋳造品を含む金属製品の機械加工および販売 |
| OHIO STAR FORGE CO. (米国オハイオ州) | 千US\$ 26 | 100.0 | 型鍛造品の製造および販売 |

エンジニアリング

| 会社名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|------------------------------|------------|-----------|---|
| 大同マシナリー株式会社 (名古屋市南区) | 百万円 310 | % 96.0 | 工作諸機械および各種機械の製造および販売 機械設備の保守、点検および修理 |
| 大同環境エンジニアリング株式会社 (名古屋市南区) | 50 | 100.0 | 灰溶融炉設備および下水汚泥処理設備の運転・保守業務請負 |

エンジニアリング (つづき)

| 会社名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|--------------------------|-----------|-----------|----------------------------------|
| 大同プラント工業株式会社 (名古屋市南区) | 百万円 36 | % 64.4 | 工業炉の設計、製作および販売 工業炉の保守、点検および修理 |

流通・サービス

| 会社名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|--|----------------|-------------|--|
| 株式会社大同ライフサービス (名古屋市南区) | 百万円 490 | % 100.0 | 当社および子会社等の福利厚生施設の管理運用 不動産・土木建設・保険・印刷事業等 |
| 株式会社大同分析リサーチ (名古屋市南区) | 75 | 100.0 | 鉄鋼、製鋼、鋳物およびセラミックス等の分析・試験・調査業務の請負 |
| 株式会社スターインフォテック (名古屋市東区) | 45 | 100.0 | 情報通信機器によるシステムの企画、設計、開発および保守運用受託 |
| 株式会社ライフサポート (名古屋市南区) | 10 | % ※100.0 | 清掃業、警備業および給食事業等 |
| 木曾駒高原観光開発株式会社 (長野県木曾郡木曾町) | 10 | % ※57.4 | ゴルフ場の経営および別荘地管理 |
| 有限会社タカラ・ファンディング・コーポレーションを営業者とする匿名組合 (東京都千代田区) | 495 (出資金) | 100.0 | 複合商業施設保有のための匿名組合 |
| 大同特殊鋼(上海)有限公司 (中国上海市) | 千US\$ 3,880 | % ※100.0 | 商事 |
| Daido Kogyo (Thailand) Co., Ltd. (タイ国バンコク) | 百万BAHT 100 | % ※100.0 | 商事 |
| Daido Steel (America) Inc. (米国イリノイ州) | US\$ 9 | % ※100.0 | 商事 |

■重要な関連会社の状況

特殊鋼鋼材

| 会社名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|--------------------------|------------|-----------|---------------------------------|
| 東北特殊鋼株式会社 (宮城県柴田郡村田町) | 百万円 827 | % 10.0 | 高級特殊鋼および加工製品の製造および販売 |
| 理研製鋼株式会社 (東京都中央区) | 485 | 45.4 | 特殊鋼二次製品、切削工具および工作・産業機械等の製造および販売 |
| 丸太運輸株式会社 (名古屋市瑞穂区) | 100 | 41.3 | 運輸業、倉庫業、場内諸作業の請負業および土木建築請負業等 |
| 桜井興産株式会社 (名古屋市南区) | 75 | 43.3 | 金属製品の熱処理の請負 |
| 泉電気工業株式会社 (東京都墨田区) | 70 | 40.0 | 電気工事の設計施工および自動制御盤等の設計製作 |
| 川一産業株式会社 (川崎市川崎区) | 30 | 35.0 | 沿岸荷役、倉庫および運輸業 |

取締役および監査役

(2020年6月25日現在)

| | |
|----------|------|
| 代表取締役会長 | 嶋尾正 |
| 代表取締役社長 | 石黒武 |
| 代表取締役副社長 | 西村司 |
| 取締役 | 清水哲也 |
| 取締役 | 利光一浩 |
| 取締役 | 山下敏明 |
| 取締役 | 梶田聡仁 |
| 取締役 | 相馬秀次 |
| 取締役 | 種村均 |
| 取締役 | 神保睦子 |
| 常勤監査役 | 志村進 |
| 常勤監査役 | 水谷清 |
| 監査役 | 松尾憲治 |

- (注) 1. 相馬秀次氏、種村均氏および神保睦子氏は、社外取締役です。
2. 水谷清氏および松尾憲治氏は、社外監査役です。
3. 相馬秀次氏、種村均氏、神保睦子氏、水谷清氏および松尾憲治氏は、東京証券取引所および名古屋証券取引所の定めによる独立役員です。

執行役員

(2020年6月25日現在)

| | |
|---------|-------|
| 社長執行役員 | 石黒武* |
| 副社長執行役員 | 西村司* |
| 常務執行役員 | 森 義昭 |
| 常務執行役員 | 神谷祐司 |
| 常務執行役員 | 竹鶴隆昭 |
| 常務執行役員 | 清水哲也* |
| 常務執行役員 | 利光一浩* |
| 常務執行役員 | 松井宏司 |
| 常務執行役員 | 山下敏明* |
| 執行役員 | 梶田聡仁* |
| 執行役員 | 野口祐二 |
| 執行役員 | 鹿嶋忠幸 |
| 執行役員 | 岩田龍司 |
| 執行役員 | 石濱辰哉 |
| 執行役員 | 杉江郁夫 |
| 執行役員 | 広瀬尚史 |
| 執行役員 | 中島智之 |
| 執行役員 | 温品昌泰 |
| 執行役員 | 丹羽哲也 |
| 執行役員 | 松尾宗義 |

(注) *印は、取締役を兼務する者を示します。

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。(https://www.daido.co.jp)

株式についてのご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
中間配当 9月30日
期末配当 3月31日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物の送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日・休日を除く)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)
【アドレス】 <https://www.daido.co.jp/koukoku/>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(お知らせ)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお申出先

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



大同特殊鋼株式会社

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この報告書は、環境保護のため、FSC® 認証紙と植物油インクを使用しています。
FSC 認証紙とは、非営利国際団体 FSC (Forest Stewardship Council = 森林管理協議会) の
原則と基準に基づいて適切に管理された森林から切り出したチップを採用したものです。